

12月24日(日) 市民の選択

自民党ワンマン市政への逆戻り許さず

「市民が主役」の市政の継承・発展を

自民党 ワンマン市政

邑上・松下市政

中学校給食は拒否
子ども医療費無償は就学前まで

中学校給食を実現
18歳まで医療費無償化(自民党は反対)

保育園・小中学校のクーラー
設置に後ろ向き

全市立保育園、全市立小中学校の
教室・体育館にクーラー設置

平和施策を否定

武蔵野市平和の日制定
平和市長会議に参加。憲法読本復刊

地球温暖化対策は国・都の
レベルにとどまる

太陽光発電設置の売電補助創設、気
候市民会議開催など、先進自治体に

情報公開には後ろ向き

市議会に対しても市のホームページ
でも、情報公開を大いに進めてきた

公募委員の採用に消極的

市政のさまざまな場で、
市民からの公募委員を抜本的に拡大

在任最後の2005年度の市の借
金(市債)は273億円(一般会計)

借金大幅減(-161億円)。2022年度
の市債残高は112億円(一般会計)

左の表をご覧ください。

自民党ワンマン市政でないがしろにされていた施策が、市民参加の邑上・松下市政で大きく前進しました。

自民党市政への逆戻りを許してはなりません(裏面もご覧ください)。

37歳女性前市議とともに、「市民が主役」の市政を継承・発展させましょう。

日本共産党

37歳女性前市議 とともにめざします

- 市民参加、ジェンダー平等と多様性の市政をつらぬく
- いのちを守ることを最優先に健康で生き生きと住み続けられるまちに
- 教育条件の向上、学校給食の無償化
- 新自由主義路線に基づく国や東京都による市民負担増に反対し、負担軽減、くらしと福祉の充実を図る
- 脱原発、再生可能エネルギーの普及
- 憲法を守り、平和事業を発展させる

武蔵野民報

2023年12月号外

発行人：岡崎万寿秀
連絡先：0422-53-1611
日本共産党武蔵野三鷹地区委員会の見解を紹介します。

国の悪政を武蔵野市に持ち込むことはごめんです

物価高騰への無策、政治とカネの問題、アメリカいいなり……、今の自民党政治はひどすぎます。

裏金づくりは、自民党の主要派閥すべてに広がっており、政権を担う資格はありません。自民党前市議（元都議）は「日本一隠しごとのない市政を進めます」と言いますが、隠れて裏金づくりをしているのは一体どの政党でしょうか。国民には大軍拡・大增税を押しつける一方で、自分たちは裏金づくりという自民党政治はもう終わらせましょう。国で悪政を進める政党の応援を受けて悪政を武蔵野市に持ち込むことはごめんです。

市民の願いに背を向ける代表になってよいでしょうか

自民党前市議（元都議）は、市議会議員のとき、多くの市民の願いに背を向ける態度をとってきました。

●市長提出議案

男女平等の推進に関する条例の改正（パートナーシップ制度導入）	反対
住民投票条例	反対
子どもの権利条例	反対

●意見書

安全保障関連法の廃止を政府に求める意見書	反対
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書	反対
東海第二原発の再稼働を行わないことを求める意見書	反対
選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書	反対
最低賃金の大幅引き上げによる改善を求める意見書	反対
消費税税率の引下げとインボイス制度の実施中止を求める意見書	反対
保育士など保育職員の全産業平均並み賃金改善等を求める意見書	反対
健康保険証の存続を求める意見書	反対

アレ？ 本当はどうなの？

？ 吉祥寺駅北口市有地売却 ？

吉祥寺駅北口の駐輪場だった市有地の売却の件で、市長を提訴したというチラシが配られ、街なかにポスターが貼られています。しかし、書いてあることが事実とは違います。

Q：吉祥寺駅前の一等地を坪 524 万円という破格の安値で売却したから市に損害を与えている？

A：実際にはその倍以上の坪 1078 万円で売却しました。

Q：売却価格をたった一人が決めたのはおかしい？

A：実際は、市の財産価格審議会が議論して決めた後、東京都の専門機関にも問い合わせ、「妥当」と判断されました。複数の眼で決めた売却価格なのです。

Q：競争入札をしなかった（随意契約）のは違法？

A：市のまちづくりにとってプラスになる取り引きの時には競争入札でなくてもよいと条例で決まっていますし、最高裁判決でもそう言っています。

？ 住民投票制度 ？

住民投票は、首長や議会が住民の意思を正しく反映していない場合、住民全体の意向を明らかにする必要がある場合などに、行政や議会の態度を是正するため、代議制民主主義を補完する積極的意義をもちます。

沖縄で辺野古米軍新基地建設の埋め立ての賛否を問う住民投票が行われた際、自民党が住民投票の実施を阻止しようとして大きな批判を受けました。

住民投票をすれば住民の意見が明確に示され、国政における自分たちの支配が脅かされるため、住民投票に反対するのです。

武蔵野市で排外主義をあおって市政の「分断」を持ち込んだのは一体誰でしょうか。「武蔵野市の市民力は日本一」と言うなら、住民投票制度を積極的に進めるのが当然ではないでしょうか。

12月24日(日) 古い市政への逆戻りは許しません

今の市政に対する攻撃の震源地は、自民党の国会議員まで務めた元市長です。「武蔵野を立て直す」と言いますが、借金財政を立て直してきたのは、18年間の「市民が主役」の市政です。37歳女性前市議とともに、平和や多様性を大切にし、誰もが安心して暮らし続けられる武蔵野市へさらに前進させましょう。日本共産党、立憲民主党、武蔵野・生活者ネットワーク、れいわ新選組、社民党、緑の党が、37歳女性前市議を応援しています。古い市政への逆戻りは許しません。



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円

自民党の政治資金パーティー裏金疑惑は、日本共産党の「しんぶん赤旗」の連続スクープ報道で発覚しました。企業・団体献金禁止法案も提出して政界の大掃除に全力をあげる日本共産党の「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。見本紙、ご購入のお申し込みは、日本共産党武蔵野三鷹地区委員会（Tel 0422-53-1611）までご連絡ください（日刊紙は電子版もあります）。